

(平成30年6月作成)

事務事業評価シート

(H.30)No. 1491 (H.29)No. 5031

事務事業名	旧細川邸やなせ宿維持管理費		
担当部局名	都市整備部	担当室名	都市計画室
		室長名	深井 克治

会計区分	事業コード	410601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿維持管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり
	施策	2	都市計画
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域資源の情報発信を行い、市民や来訪者の交流、集客に努めると共に、地域住民による自主自立のまちづくりを推進し、暮らしと伝統文化等が結びついた活力あるまちづくりを目指します。
事業内容
町屋改修のモデルとして整備された「やなせ宿」においては、地域活動や生涯学習の場としての貸し館事業や、名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践しながら、施設の活用と管理・運営を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	来館者数22,840人 ・需用費(1,017千円) ・役務費(356千円) ・施設維持管理等 ・委託料(5,038千円)	来館見込み者数23,000人 ・需用費(810千円) ・役務費(360千円) ・施設維持管理等 ・委託料(5,150千円) ・償還金等(1千円)	指定管理者制度導入の検討(所管異動の検討)	指定管理者制度導入	指定管理者制度での運営

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		6,411千円		8,681千円	6,321千円	6,321千円	6,321千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債				2,300			
その他(使用料)		20		50	50	50	50
一般財源	0	6,391	0	6,331	6,271	6,271	6,271
人工数							
職員		0.60人		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	4,440千円	0千円	4,440千円	4,440千円	4,440千円	4,440千円
①+②総事業費	0千円	10,851千円	0千円	13,121千円	10,761千円	10,761千円	10,761千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

「初瀬街道やなせ手づくり市」を毎月1回開催したり、各種教室を企画するなどリピーター獲得に力を入れ、年間2万人前後の入館・施設利用が定着してきています。また、木津川上流河川事務所との連携など、水辺空間を活用しつつ名張の魅力を発信しています。名張らしさを生かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより、長期に継続して運営できる施設としての管理体制を検討します。指定管理者制度の導入に向け、各種関係団体等との調整協議を行います。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

開館より10年を迎えるにあたり、地域ビジョンの実現に向けて、より自主的な施設の利活用を促進するため、指定管理者制度導入の検討・協議に取り組みます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画

--